

地域景観資源 （第2回登録）

登録名称		景観特性
1	<p>聖峰からの眺望</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;">   </div>	<p>古くから不動尊が祀られている山頂広場に立つと、相模平野のまちなみと相模湾に浮かぶ湘南江ノ島が目に飛び込んできます。さらに、横浜ランドマークタワーやスカイツリー、新宿副都心をはじめとする東京のビル群を眺めることができ、空気の澄んだ日（主に11月から3月）には茨城県の筑波山までをも確認することができます。</p> <p>また、毎年元旦には、多くの方が登頂し、江の島の左手から昇る初日の出を堪能します。その際、「聖峰世話人会」の皆様が5時に山頂に集まり、甘酒や地元産ミカンで登頂された方々をおもてなししています。</p> <p>同会の皆様の日頃からの整備により、絶景と自然を満喫できる場所となっており、近年では、この眺望を求め、四季を通じて多くの方々が訪れています。</p>
2	<p>三之宮 比々多神社 春季例大祭</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;">   </div>	<p>豊作などを祈願し、約1300年前から続く年に1度の大会で、三之宮祭の名で親しまれています。</p> <p>毎年4月22日に開催されており、地域の人たちが、「イヤートーサッセ（弥遠に栄えたまへ）」の勇ましい掛け声とともにお神輿を担ぎます。</p> <p>また、三之宮・栗原・神戸地区の3基のカラクリ人形山車や、境内で行われる伝統芸能里神楽、植木市を始めとする約200軒の露店も祭りに花を添えます。</p> <p>神奈川の祭り50選に選ばれています。</p>
3	<p>廻り地蔵</p> <div style="display: flex; flex-direction: column; gap: 10px;">  </div>	<p>江戸時代の中頃、保国寺の孝戒和尚という住職は、子どもを大変可愛がっており、貧しい農村の子どもが病気等で亡くなってしまうことが多かったことを悼んで、百体の地蔵尊を造り上げました。</p> <p>保国寺近くの百か村に回った地蔵尊の中には、今もなお、子どもの健やかな成長を願い地域の家々を廻っているものがあり、古き良き歴史・文化が継承されています。</p>

4	市民の森 ふじやま公園	 	<p>市街地近郊に位置する緑豊かな公園です。また、梅・桜の名所としても知られ、四季を通じて多くの市民が訪れる憩いの場となっています。</p> <p>公園の高台からは、大山を背景に新東名高速道路・伊勢原大山インターチェンジ、伊勢原ジャンクションを眺めることができるなど、新たな伊勢原の景観を楽しむことができる眺望点の一つにもなっています。</p>
5	総合運動 公園の イチョウ並木	 	<p>かながわの公園50選に選ばれている総合運動公園は、芝生の広場、自由広場、野球場、体育館など複数のエリアが設けられた市内最大の公園です。</p> <p>黄金色に輝くイチョウ並木は約200m 続き、桜並木に勝るとも劣らない絶景です。散策路には落ち葉が敷き詰められ、まるで絨毯のような景観を楽しむことができます。丘陵地にあるからこそその深い色味で、市街地で見るとは違った魅力に惹きつけられます。</p>
6	大山 絵とうろう まつり	 	<p>毎年8月中旬に開催され、今年で15周年を迎えるお祭りです。</p> <p>「光の回廊」は、江戸時代に行われた大山詣りの際、人々の道しるべとなった街道の常夜灯にちなんだ演出となっています。店舗や施設など地域一体で制作した大きな「絵とうろう」や地元の小中学生が制作した「牛乳パックとうろう」などが約3kmにわたり、大山阿夫利神社からの夜景とともに演出し、魅惑的な景観を作り上げます。</p>

7	善波の 矢倉沢往還	 	<p>矢倉沢往還は東海道の脇往還として機能していた古道で、江戸時代には大山詣りの人々で賑わいました。</p> <p>ルートは概ね現在の国道246号線に相当し、伊勢原市内でも所々に旧道を見ることができます。善波の矢倉沢往還はその中でも最も往年の面影を残しており、道端には石仏や馬頭観音がひっそりと佇み、木立の間からは善波川とそれに沿う水田を見ることができます。</p>
8	大山桜	 	<p>「大きな山桜」という意味に由来する大山桜は、例年4月頃に見頃を迎え、地元住民や多くの観光客を魅了します。</p> <p>樹齢400年を超える4本の大木が急斜面に垂直に立ち、可憐な桜の美しさと太い根で大きな幹を支える力強さを見ることができます。</p>